

慢性甲状腺炎 (橋本病) の診断ガイドライン

ポケットブック版にてご覧いただけます。

【お問い合わせフォーム】

<https://www.mbl.co.jp/contact/dia.html>

バセドウ病

バセドウ病は自己免疫機構により甲状腺の活動性が亢進する疾患です。本疾患では TSH レセプターと反応する自己抗体 (抗 TSH レセプター抗体) が甲状腺細胞を刺激する II 型アレルギーをひき起こし、正常のフィードバック機構からはずれて甲状腺ホルモンが産生され続けることによって発症します。抗 TSH レセプター抗体のほか、抗サイログロブリン (Tg) 抗体、抗甲状腺ペルオキシダーゼ (TPO) 抗体も検出され、TSH は低下、 T_3 、 T_4 は上昇します。

また、バセドウ病に対する治療薬であるプロピルチオウラシル (PTU) 投与後に抗好中球細胞質抗体である MPO-ANCA が陽性となる症例が報告されています*。

* 世羅 至子 他, Modern Physician, 21 (8), 1073-1075, 2001

臨床的特徴

びまん性甲状腺腫、動悸・息切れ、眼球突出、易疲労、暑がり・発汗過多、精神的不安定

関連自己抗体			
自己抗体	疾患、病態との関連	MBL 関連製品	診断基準
抗 TSH レセプター抗体	バセドウ病未治療例の 90% が陽性。		◎
甲状腺刺激抗体			◎
抗サイログロブリン (Tg) 抗体	バセドウ病の他、慢性甲状腺炎 (橋本病) でも高率に出現。他の甲状腺疾患でも検出される。		
抗甲状腺ペルオキシダーゼ (TPO) 抗体			
MPO-ANCA	バセドウ病に対する治療薬であるプロピルチオウラシル投与後に陽性になる症例が報告されている。	CLEIA ステイシア MEBLux™ テスト MPO-ANCA ELISA MESACUP™-2 テスト MPO-ANCA IIF 法 フルオロ ANCA テスト	

バセドウ病の診断ガイドライン

ポケットブック版にてご覧いただけます。

【お問い合わせフォーム】

<https://www.mbl.co.jp/contact/dia.html>

潰瘍性大腸炎 (UC)

潰瘍性大腸炎は主として粘膜を侵し、しばしばびらんや潰瘍を形成する大腸の原因不明のびまん性非特異性炎症です。通常、血性下痢と種々の程度の全身症状を示します。長期にわたり、かつ大腸全体をおかす場合には悪性化の傾向があります。

臨床的特徴

血便、粘血便、下痢、血性下痢、腹痛、発熱、食欲不振、体重減少、貧血、関節炎、尿路結石、虹彩炎、結膜炎、睇炎、高アマラーゼ血症などの腸管外合併症

関連自己抗体

p-ANCA (抗 HMG1/HMG2 抗体)、リンパ球親和性抗体など